

授業科目名	子どもと表現（図工）(2100227)		
時間割名	子どもと表現（図工）(31108)		
時間割担当	松井典夫		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・1		

■授業の目標・概要

幼稚園5領域における「表現」領域に鑑み、造形に関する様々な素材と表現方法について、知識・理解を深め、表現することに対する実践力を高めることを目的とする。絵画・彫塑・版画・立体造形の4種を通し、色や形によって自己表現するための基本となる観察力、構成力、バランス感覚等の造形能力の基礎を養い、それを生かした指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。

■学習の到達目標

- ・絵画、彫塑、版画、立体造形の4種に関する実践的授業を通して、造形表現活動に対する知識・理解を深める。
- ・幼稚園教育要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践力を身につける。

■授業方法・形式

- 1.それぞれの学習内容に対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げる素材、テーマに関するディスカッションを行う。

■授業計画

- 第1回 「表現」領域について
幼稚園5領域の「表現」領域についての理解を深め、本授業で学ぶべき事項の概要を理解する。
- 第2回 粘土で作るⅠ
粘土がもつ素材の特性を理解し、各人の「手」をモチーフに、デザインや表情を考える。
- 第3回 粘土で作るⅡ
手の関節や、筋肉のふくらみなどを意識しながら、粘土で作品を制作し、鑑賞し合う。
- 第4回 静物画Ⅰ
対象とする静物を観察し、構図、色彩、背景などを計画し、デッサンする。
- 第5回 静物画Ⅱ
水彩絵の具を使い、着色し、作品を完成させ、鑑賞し合う。
- 第6回 立体造形Ⅰ
紙粘土を使用し、人形の頭部と手を作る。人形の使用目的を明確にし、その表情や色彩に留意する。
- 第7回 立体造形Ⅱ
布で指人形の服を作り、完成させ、鑑賞し合う。
- 第8回 版画Ⅰ 紙版画、スチレン版画についての原理を理解し、原画を作る。
- 第9回 版画Ⅱ 原画に基づき、版を作製し、完成させる。
- 第10回 版画Ⅲ 凸版の刷りと、転写版の刷りを体験し、作品を完成させ、鑑賞し合う。
- 第11回 幼稚園教育要領に基づいた指導計画
学習指導計画の作成上の配慮事項や単元指導計画、学習指導案の作成について学ぶ
- 第12回 模擬授業演習(1) 粘土 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第13回 模擬授業演習(2) 静物画 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 模擬授業演習(3) 立体造形 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけた造形表現活動と、幼児教育との関連についてまとめる。

■成績評価の基準

- 各作品の評価の平均(50%)
- 鑑賞カード・レポート(40%)
- 受講態度(10%)

■準備学習・復習及び授

- ・『幼稚園教育要領』を熟読し、学ぶべき内容についての理解を深めておく。
- ・『幼稚園教育要領』を参照し、指導内容を確認し、学習指導案作成の際に活用する。

■履修上のアドバイス及

発達段階を考慮した模擬授業の作成、実践を通して、保・幼教員としての資質を身につけることを期待します。積極的・自主的な参加姿勢が、個々人の学修成果に大きく結びつきます。

■教材・教科書

授業者作成のスライド

■参考書

文部科学省 幼稚園教育要領